

柏尾川は戸塚区の中心を南北に流れ、戸塚の歴史をずっと見てきました。

この冊子は柏尾川を通して、みなさんのまち「戸塚」をもっと知ってもらうためにつくりました。

この冊子に書いてあることは、柏尾川や戸塚区のほんの一部です。

この冊子をきっかけにして、実際に行ってみたり、興味をもったことを調べてもらえたらと思います。

そして、見つけたものや感想、調べてわかったことなどを書き加えて、

あなただけの「柏尾川物語」を作ってほしいと考えています。



KASHIOGAWA

僕と一緒に
柏尾川について
見てみよう。



柏尾川物語・あなただけの柏尾川物語を作ってみませんか?

目次

- はじめに●2
- 柏尾川流域の姿●4
- 柏尾川●6
- 舞岡川●8
- 阿久和川●10
- 名瀬川●12
- 平戸永谷川、川上川●14、15
- 川に親しむ人々●16
- 戸塚 町と川の歴史●17
- れきしコラム:柏尾川の桜並木●26
- れきしコラム:明治の大改修●30
- れきしコラム:柏尾川の橋あれこれ●32
- 川の話●33
- 水の旅●34
- 洪水を防ぐ●36
- 生き物を観察しよう!●38
- 川の自然を楽しむときには●44
- あとがき●46

じゃあ、次は柏尾川と仲間の川に行ってみよう。



これが僕たち鳥の目でながめてみた柏尾川流域だよ。こんなにたくさんのおところから柏尾川へ水が集まって来るなんて驚きだね。



柏尾川流域の姿



●江ノ島河口部
境川河口から江ノ島を臨む。

柏尾川の本流「境川」の終点です。境川は、町田市のはしを水源に、町田市と城山町・相模原市の都県境を南下し、横浜市と大和市・藤沢市の市境を流れ、江ノ島西岸で相模湾に注ぎます。



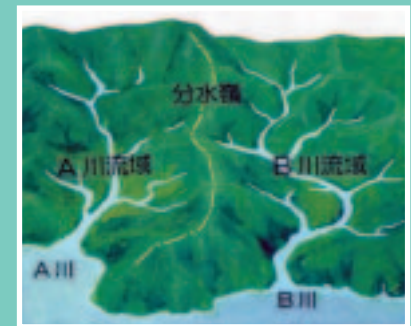
●境川合流点
新川名橋から合流点を臨む。左が境川、右が柏尾川。

柏尾川は戸塚・大船を流れた後、藤沢駅の近くで本流「境川」に合流します。ここが、柏尾川としての終点です。この先、境川として江ノ島の近くまで流れていきます。



●柏尾川始点
左が阿久和川、右が平戸永谷川

平戸永谷川と阿久和川が合流したところから柏尾川と呼んでいます。ここは階段のようになっていて川に降りることができます。それぞれの川が柏尾町・名瀬町・上矢部町の町境になっています。



◆分水嶺
川の流域の境目となる山脈などを分水嶺といいます。



▲とつか納涼大会

●桜まつり・納涼大会

柏尾川は区のシンボルであり、区民の集う場所です。毎年、柏尾川一帯（戸塚駅～高嶋橋）では「戸塚桜まつり」や「とつか納涼大会」が開催されています。

戸塚桜まつりでは、桜並木の下で、踊りなどが行われます。プロムナードには露店も出て、この時期は最も多くの人出で賑わいます。

とつか納涼大会では、灯ろう流しや盆踊りなどが行われます。夏の夜、静かに川面を流れる灯ろうを見ていると、幻想的な雰囲気につつまれます。



▲桜の季節、多くの人でにぎわう柏尾川

●シンボルマーク

みなさんも知っているこのマーク。これは、区制60周年を記念して定められた区の花のシンボルマークです。区の花を公募したところ「柏尾川の桜」が4割を占め、区の花は「桜」に決まり、このマークが作られました。桜の背景にある3本の線は柏尾川の流れを表しています。



とつか

戸塚区の中央を流れる柏尾川は、境川水系で最も大きい支流です。柏尾川付近で平戸永谷川と阿久和川が合流したところを始点に、藤沢駅付近で境川に合流し、江ノ島まで流れて行きます。柏尾川といえば「桜」というほど、川沿いの桜並木は有名です。この桜は、江戸時代末期の植樹からはじまり、昭和初期には関東屈指の桜の名所といわれました。現在は、川沿いに遊歩道が整備され、通勤や散歩に多くの人が利用しています。



●延 長：5km
●流域面積：15km²
●交 通：戸塚駅から徒歩、バス
本郷台駅からバス

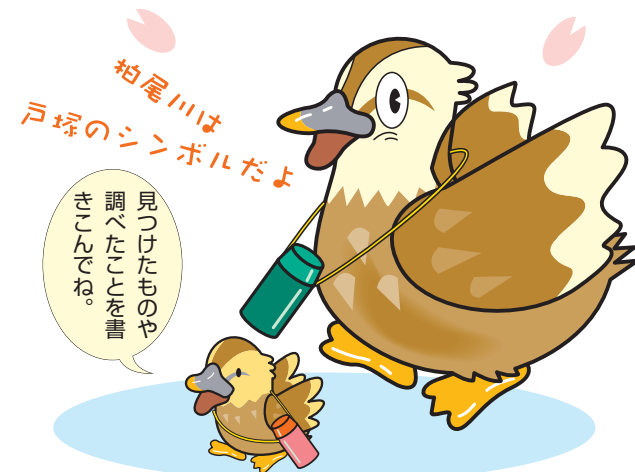
●四季の行事

行事名	時期	主催者
戸塚桜まつり	3月下旬～4月上旬	戸塚桜まつり実行委員会
とつか納涼大会	8月中旬	とつか納涼大会実行委員会



❓1 この桜のなまえは何でしょう？

🔍 調べ 柏尾川沿いには何種類の桜の木が植えてあるんだろう？



❓3 桜橋と高嶋橋の間にある水門はなんのためにあるの？
🔍 調べ 戸塚ポンプ場の水門だけど、ポンプ場ってなんだろう。

❓2 海鳥のイソシギがどうしてここにいるんだろう？
🔍 調べ 金井遊水地付近でよくみかけるよ。観察してみてね。

📖 コースガイド 柏尾川健康づくりコースを紹介した大きな看板です
📖 ポイントガイド 柏尾川に関するコラムの書かれた看板が約250m間隔で設置してあります
詳しくはコースガイドを見て下さい。

●柏尾川プロムナード

柏尾川には、柏尾川プロムナードと呼ばれる遊歩道があり、川の堤防部分に木を植えたりベンチを置いたりして、散歩を楽しめるようになっています。プロムナードの大部分が桜並木になっており、約700本の桜が植えられています。春は花を愛で、夏は木陰に涼み、秋は紅葉を楽しむことができます。

戸塚駅より下流は、「柏尾川健康づくりコース」として案内板も設置されています。あなたも、ウォーキングやジョギングを楽しんでみませんか。

●金井遊水地

栄区金井公園の前に金井遊水地があります。ここは、水害を防ぐために一時的に水を溜めておく大切な役割もっています。その一方で、ここは鳥たちの楽園になっていて、柏尾川で最も多くの鳥を見ることができます。

ある1日に見ることができた鳥は12種類にも上ります。柏尾川のあちこちで見かけるカルガモやハクセキレイだけでなく、海鳥のイソシギや飛ぶ宝石といわれるカワセミなどもありました。一日、バードウォッチングも楽しいですよ。



▲金井遊水地



▲大橋付近から上流を望む



▲吉田町親水広場



▲戸塚駅東口付近



▲高嶋橋から上流を望む



▲初夏の舞岡公園 photo: 海野道男

●舞岡ふるさと村

舞岡には、豊かな田園風景と水源となる山林が広がっており、この自然を活かした「舞岡ふるさと村」があります。

ここでは、自然や農業・農村文化に親しみながら理解を深めることができるような施設があります。主なものには、虹の家（総合案内所）舞岡や（直売所）、ハム工房まいおか（ハム等直売所）があり、また、ふるさと村内に位置する舞岡ふるさとの森は散策を楽しめます。

さつまいもほりやトマトもぎなどの農業体験も行っていきます。詳しくは、虹の家へ

●総合案内所虹の家

☎826-0700
FAX826-0749
開館：9:30～17:00
休館日：火曜日
(祝日の場合その翌日)

●舞岡公園

舞岡駅から20分も歩くと「ここが横浜!？」と驚く風景に出会えます。ここが舞岡公園です。豊かな雑木林は水源となっており、谷戸の田園風景は昔の里山景観を残しています。園内には自然保護区があり、自然の生態系の保持もこの公園の大きな役割の一つです。

スケッチブックを片手に、ゆったりとした1日を過ごしてみたいかがですか。バードウォッチングにも最適です。

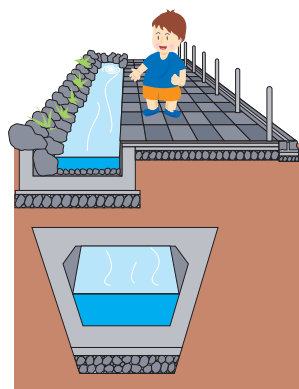


▲舞岡公園内の弁天池

●舞岡町小川アメニティのなぞ

舞岡駅から舞岡公園に向かって遊歩道（小川アメニティ）を歩いていると、水が湧き出しています。少し行くと、今度は水が吸い込まれています。どうなっているのでしょうか？

実はこのアメニティとても面白い構造をしています。みなさんが見ているのは2階の部分だけで、水のほとんどは1階を流れています。水の湧き出しと吸い込みは、2階を流れる水を、橋の下を通す工夫なのです。水はいったん吸い込まれて橋の中の管を通り、湧き出し口から出てきます。高低差を利用したおもしろい仕かけになっています。



▲舞岡町小川アメニティの構造



▲小川アメニティ虹の家付近



▲小川アメニティ

●舞岡川ふれあい広場

舞岡小学校に接したところに、舞岡川ふれあい広場があります。ここは親水広場になっていて水辺に降りることができます。PTAや地域の要望を受けて、校庭と一体で使えるように整備されました。学校では、毎年川掃除などを行い、学習の場として川に親しんでいます。児童の作った絵タイルがフェンスを飾っています。



▲舞岡かるがも橋



▲児童の作った絵タイル

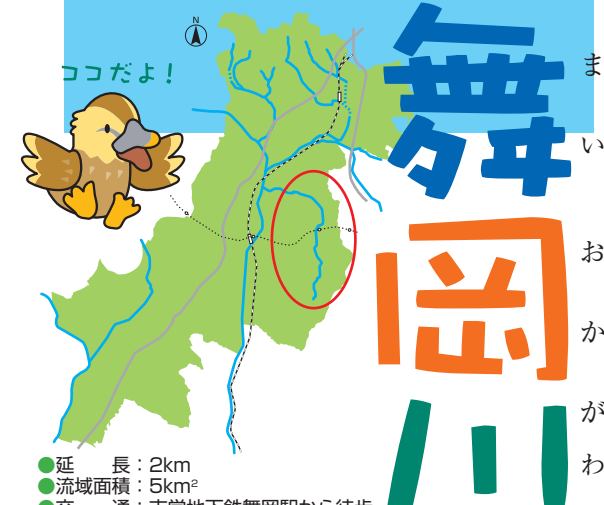


▲舞岡小学校に隣接する舞岡川ふれあい広場



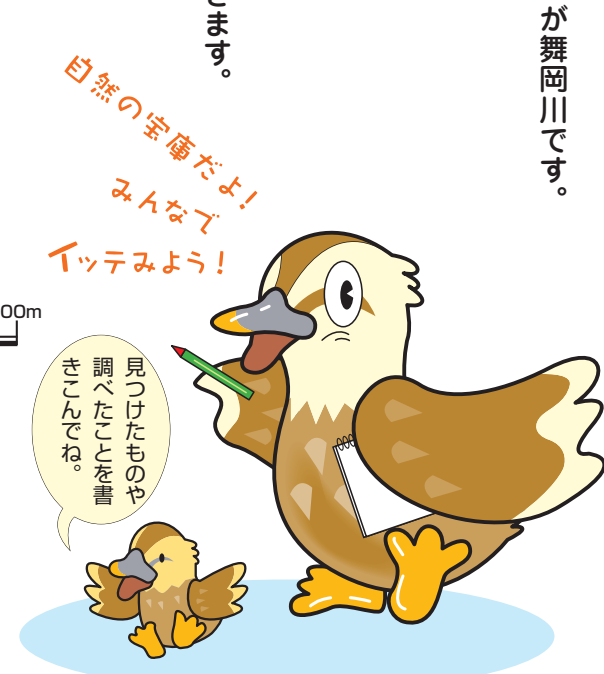
2 この花のなまえはなんでしょう？
花の形がカミソリみたいだね！
夏の舞岡公園で見かけます。

1 この鳥のなまえはなんでしょう？
きれいな鳥だね！舞岡公園にもいます。
他にどんな鳥が見られるかな？



舞岡川
ま
い
お
か
が
わ

舞岡公園付近を源流に、ほぼ北西に流れ、柏尾川に注ぐのが舞岡川です。市内でも数少ない里山風景が残る舞岡では、現在でも水田が耕作されています。舞岡駅より上流は、舞岡公園までの遊歩道になっており散歩を楽しめます。下流は、国道1号まではほぼ道路に沿って流れ、柏尾川に注ぎます。



「舞岡ぶらりマップ」配布中

お問合せは戸塚区役所企画調整係まで ☎866-8327



●大上なかよし公園・片曾ふれあい公園
「大上なかよし公園」と「片曾ふれあい公園」は、地域の人たちが参加して造った公園です。公園をなおすときに、地域の人と上矢部小学校の子どもたちで、安全かどうか調査し「どんな公園にしたいか」プランを作りました。また、床と壁の絵タイルとモニュメントもみんなが作ったものです。名前は募集したものから、みんなで投票して決めました。



▲大上なかよし公園 みんなでつくったモニュメント



▲名瀬川合流点



▲ダンス発表



▲バームクーヘンづくり



▲花壇づくり

●AQUAフェスタ

地域の人たち（上矢部まちづくりの会）は阿久和川を地域の交流の庭と考え、美化活動や啓発活動を行っており、上矢部小学校も学校ぐるみでこの活動に参加しています。

その最大のイベントが「AQUAフェスタ」です。川の両岸を使って、児童の学習成果の発表やクイズラリー、花だん作りやバームクーヘン作りなど盛りだくさんの内容で開催しています。2003年で3回目を迎え、地域のイベントとしてすっかり定着しました



●延 長：1.6km
●流域面積：14km²
●交 通：戸塚駅からバス

戸塚区上矢部町を流れ、平戸永谷川と合流し柏尾川になります。源流は瀬谷区三ツ境付近で、瀬谷・泉・戸塚（旧戸塚区）の昔「中川村」と呼ばれた地域を流れ、村の名前の由来となった川です。上流には長屋門公園（瀬谷区阿久和町）や集いのまほろば（泉区岡津町・新橋町間）などがあります。上矢部町付近では、県道瀬谷柏尾線と並んで流れ、川沿いは「川辺の散歩道」になっています。かもめ橋上流付近の階段状の護岸や川沿いの通路には、地域の人たちが花を植えて手入れをしています。



▲かもめ橋上流付近



▲上矢部塚廻公園の古墳の模型

●上矢部町古墳群

阿久和川の下流域には、東野台1号墳・2号墳、長蔵寺裏古墳など多くの古墳が発掘されています。その中でも、上矢部町富士山古墳からは数多くの埴輪が出土しています。埴輪には円筒・人物・馬などがあり、当時の生活の様子を知ることができます。

古墳は開発等により残っていませんが、上矢部塚廻公園に古墳の模型があり、その雰囲気を知ることができます。また、出土した埴輪は、横浜市歴史博物館で見ることができます。



? かもめ橋やトーヨー橋の名前のもともになったものは何でしょう？ ヒントはこの写真の中にあるよ。
調べる 橋の名前の由来を調べてみよう。



●大山道

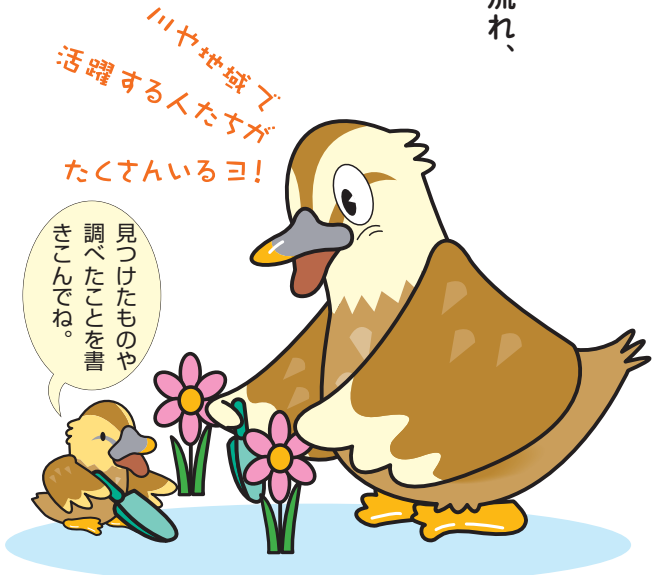
大山は水を司る神として古くから信仰を集めていました。様々な地域から大山へ詣でたことから、方々に大山道と呼ばれる道があります。

戸塚にも柏尾通と呼ばれた大山道があり、柏尾町で東海道から分かれ泉区岡津町までの間はほぼ阿久和川に沿っていた（現在の県道瀬谷柏尾線）ようです。

江戸時代中期から後期にかけて、庶民の間で大山詣が流行し、庶民の娯楽となっていました。さぞや多くの人々が通ったのでしょう。

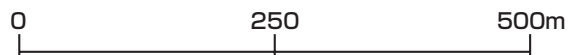


▲かつての大山道、県道瀬谷柏尾線



川や地域で活躍する人たちがたくさんいるヨ！

見つけたものや調べたことを書きこんでね。



●生き物の宝庫

名瀬川は、戸塚区内で最も水のきれいな川です。上流の川の中には、サワガニやカワナナ（ホタルの幼虫のえさ）などを見ることができ、オランダガラシなど水がきれいでないと育たない植物もたくさん生えています。こういった生き物は生物指標といい、川の汚れを知るめやすになっています。

また、源流域の戸塚カントリー倶楽部周辺は、多くの鳥のすみかとなっていて、鳥の声を聞きながら散歩を楽しむことができます。



この生き物の名前は何か？

近くの川にはどんな生き物がいるのかな？

●ふれあい広場

名瀬町の平蔵橋から上流に、ふれあい広場があります。川にふたをすること（暗渠）になったとき、地域の人たちが知恵を出しあって決めた案を基にこの広場は作られました。

地域では、花をたやさないように季節ごとに花壇の手入れをしています。また、夏のラジオ体操やいも煮会・もちつき大会などが行われ、地域の交流の場として、今では欠かせない大切な場所となっています。



▲地域の人たちでにぎわう、ふれあい広場

●精進場

名瀬川の中流に精進場と呼ばれる場所があります。ここは、かつて雨乞いの儀式の場だったと伝えられています。雨を乞う集落の若い人たちが妙法寺の半鐘を精進場に担いで行き、半鐘に水をかけながら、お経などを唱えて日蓮上人から受け継いだと言われる雨乞いをしました。この名瀬特有の方法はとても効果があり、一週間以内には必ず雨が降ったと言われています。



▲精進場近くの親水護岸



●名瀬町小川 アメニティ

名瀬川の上流に「名瀬町小川アメニティ」があります。源流の近くで、自然景観に配慮して整備されました。アメニティの中には、飛び石があり、川の中を歩くこともできます。ホタルの生息地として、地域ではホタルの放流などの保全活動を行っています。



▲名瀬町小川アメニティ



▲背戸橋付近



▲五反田橋～宮下橋付近

●名瀬の九十九谷戸

「谷戸」と書いて「やと」と読みます。谷戸は「盆地や平野の山の辺にある丘と丘にはさまれた小さな谷」をいいます。「名瀬はクジュウクヤト」といわれるほどたくさんの谷戸があります。カブキ・キリガヤト・チョウガヤト・カナボウヤト・ビジンガヤト・ナガツチョウヤト・ヘイソウヤト・タカノヤト・マツクボヤトなど現在も地名に残っているものも見受けられます。



▲名瀬の谷戸 photo: 海野道男



▲五反田橋～宮下橋付近



▲宮下橋付近～羽沢橋付近

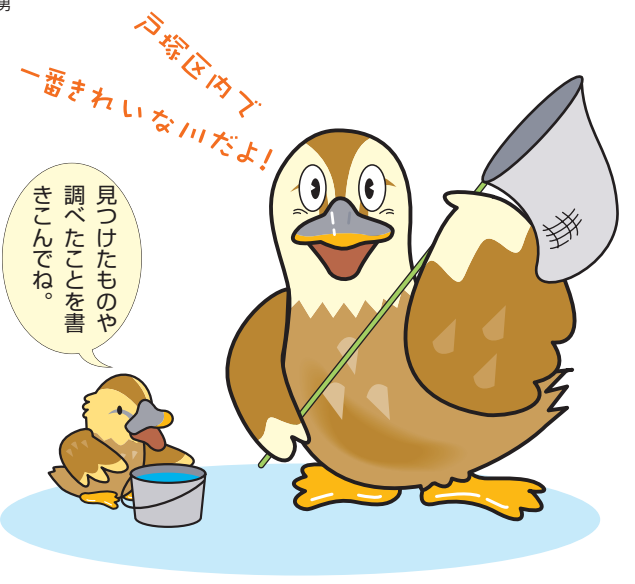


▲羽根沢橋付近



●延 長：2km
●流域面積：3km²
●交 通：戸塚駅・東戸塚駅からバス

「名瀬は九十九谷戸」と言われ、谷戸の風景が美しい所です。この谷戸を育んでいるのが、町の中央を流れる名瀬川です。名瀬川は、戸塚カントリー倶楽部付近を源流に、阿久和川に注いでいます。谷戸の奥には湧き水があり、これらがいくつも集まって名瀬川をつくっています。上流には名瀬町小川アメニティが、中流には、親水護岸が整備されています。名瀬第一遊水地は、地域の人たちに開放され球技などを楽しむことができます。



見つけたものや調べたことを書きこんでね。

戸塚区内で一番きれいな川だよ！



川上川は、大池付近を源流に、東戸塚の地下を通り、市街地を南へ流れていきます。国道1号を越え、いったん平戸永谷川に近づいた後、再び離れて秋葉町で平戸永谷川と合流します。

●平戸町の桜

平戸町の住宅地の間を流れる川上川は、桜の季節になると華やぎます。川の右岸に桜が覆いかぶさるように植えられており、周辺住民に憩いを与えてくれます。秋の紅葉も美しく、川面に散った桜の花びらや落ち葉も大変風情があります。



▲平戸町の桜

●せせらぎの小道

川上川の上流は、せせらぎの小道という自然を生かした散策路になっています。こども自然公園へここでは水のせせらぎの音も聞こえ、静かなひとときを過ごすことができます。せせらぎの小道を遡り、川に並行して走る一本道をたどっていくと、こども自然公園(旭区)まで行くことができます。途中には富士山がきれいに見える場所もあります。



▲せせらぎの小道

●不動堂と大山道道標

不動坂交差点から北に一本入った道に、不動堂があります。一説には、この不動堂が不動坂の名の由来ともいわれています。ここには、昔、東海道から分かれて大山へ向かった大山道の道標が4基あります。

大山は水を司る神として古くから信仰の対象となってきました。江戸時代には、庶民の間で大山詣が流行したようです。これらの道標は、昔の人たちが旅の目印にただでなく、信仰のしるしとして個人が寄贈したものです。



このカモのなまえはなんでしょう？
 上柏尾橋～霞橋間の曲り角付近でよくみかけるよ。観察してみよう。



▲益田家のモチノキ

●益田家のモチノキ

不動坂交差点近くに、小さな山があるかのようなひととき大きな木があります。これが、神奈川県指定の天然記念物「益田家のモチノキ」です。雌雄2本のモチノキは、遠くから見ると1本の木に見え、その姿の大きさ美しさは群をぬいています。東海道に面したこの場所に立ち、ずっと人びとの往来を見守ってきたのでしょう。



▲大山跨線橋より上流を望む

●川辺の散歩道

平戸永谷川の外郷橋から源才橋(港南区)の間は「川辺の散歩道」になっていて、散歩を楽しむことができます。そこには国道1号からほんのちょっと入っただけとは思えない世界が広がっています。鳥たちも安心できる場所なのか、カルガモの親子が沢山遊んでいます。鳥の声に包まれ、四季折々の花や木を楽しむことができます。どんぐりも拾えます。



▲川辺の散歩道



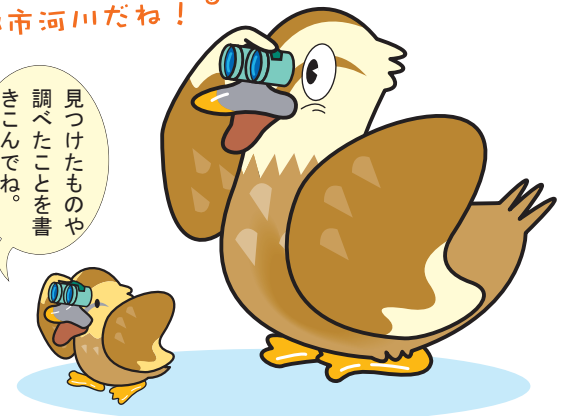
▲上外郷橋付近



平戸永谷川は柏尾町付近で阿久和川と合流し、柏尾川になります。源流は港南区野庭付近で、港南区内では環状2号線と、戸塚区内は国道1号とほぼ並行して流れています。国道1号の北側は内陸工業地帯になっており、周辺には、食品・陶器・電気・機械などの工場があり、さながら「工場銀座」といった感じですよ。

工業地帯の中央を流れる都市河川だね！

見つけたものや調べたことを書きこんでね。



▲平戸永谷川(右)と川上川(左)の合流部

川に親しむ人々

柏尾川流域には、川を愛しそこに生きる物たちを大切にしている活動を行っている人達がいまいます。そんな人達の活動を少しだけ紹介します。ここに紹介した人達だけでなく、自治会・町内会や有志でグループを作って活動している人もたくさんいます。川は私たちにとって憩いの場であり、生き物を育む恵みの場です。私たちの川をみんなで大切にしましょう。

≡ 柏尾川をきれいにする会 ≡

妻と友人が柏尾川を散策中、周辺の汚さに不快な思いをし、戸塚の桜の名所「柏尾川」を多くの人にきれいな中で楽しんでもらいたいと、友人数人と時々清掃したのが始まりです。その後、男手が必要と相談を受け、友人に声を掛けて会として運営を始めたのが12年の3月でした。毎月第2日曜日の午前中に、柏尾川の吉倉橋～高嶋橋の間で活動しています。毎回、20～30名の参加者とともに、護岸の草刈や河川敷のゴミ拾いなどの清掃活動をしています。活動には、いつでも参加していただくことができます。



≡ クリーン柏尾川 ≡

私たちは、平成15年7月から柏尾川の清掃活動を始めた地元ボランティアです。毎回、30人以上が参加し桜橋付近の清掃をしています。清掃活動は年3回。桜の花見が終わった春、納涼祭が終わった夏、紅葉の始まった秋を予定しています。ホームページにて活動の紹介をしていますので、ぜひご覧下さい。午前10時からの1時間で、親子でもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしています。ホームページアドレスは <http://www.ttmy.ne.jp/nishiyama/index.htm>



≡ 名瀬川と遊び隊 ≡

私たちは行政と協働して平成13年に上矢部まちづくりプランをまとめた中で、地域にできることは何かを考えました。地元名瀬川の親水場(2ヶ所)を中心に一定区間を整備し、子ども達に魚・鳥・植物の観測やボート遊びの水路をつくろうと提案。54名が会員として、地域の方々のご協力に感謝しながら活動しています。

- 主な活動は
- ①遊歩道と川の中の清掃(毎月)。親水場エリアの草刈
 - ②イベント時のバームクーヘン作りや芋煮会
 - ③生物調査とボート遊び



≡ まいおか水と緑の会 ≡

まいおか水と緑の会は、舞岡川を中心とした柏尾川流域で川歩きや川そうじをしながら、生き物たちがにぎわい、子どもも大人も気軽に集える川と、川や谷戸を生かしたまちづくりをめざして活動しているグループです。

- 主な活動のスケジュール
- 春 川歩き、柏尾川のそうじと川あそび
 - 夏 舞岡川のそうじと川あそび
 - 秋 ハゼ釣り、舞岡川そうじ
 - 冬 柏尾川の鳥見会
- 隔月 舞岡川の定例観察、水質調査

